

「箕輪町 議員と語ろう」について

(1) 概要

箕輪町議会は、2月17日みのわベースにて町民との意見交換会「箕輪町 議員と語ろう」を開催し、多岐にわたるテーマについて町民と議員が活発に意見を交わしました。当日は町民と議員が対面で意見交換をする部屋、ワールドカフェ形式で気軽に交流できる部屋、ポストイットで自由に意見を張り付けられる部屋の3部屋を用意しました。

10歳代から70歳代の男女、約30名が参加し活発な意見交換が行われました。

会場では、医療、防災、都市計画、観光政策、森林管理、議会運営など多くの課題が話し合われ、町民から具体的な要望や意見が寄せられました。

(2) 「町民と議員が対面で意見交換をする部屋」で出された主な質疑

医療と地域医療機関の在り方

伊那中央病院に関する意見では、高齢者の手術対応や病院の財政問題についての懸念が示されました。町民からは「70歳以上は手術を受けられないと言われた」との発言がありました。

常会未加入問題と自治会の課題

町民からは、「常会未加入者の増加でゴミ処理の負担が増えている」との声が上がりました。議員からは「町では常会未加入者を約3割と推定しており、加入促進を進めているものの、強制はできない状況にある。」との説明がありました。町民からは自治会の負担軽減や区の合併の可能性についても検討の必要性が指摘されました。

都市計画と防災対策

狭い道路が多く、消防車の通行が困難な地域があることについても意見が寄せられました。特に、新興住宅地ではインフラ整備が追いついていない状況が指摘され、町全体での計画的な道路整備の必要性が強調されました。

もみじ湖観光と地域住民の思い

もみじ湖観光の活性化に関する意見も出されました。参加者から「箕輪ダム建設に伴い、長岡新田の住民は昭和57～59年に移住し、400年近い歴史ある村は廃村となった。立ち退き時、「上伊那5市町村の飲料水確保のため」と説明された。現在、紅葉の名所となり観光客が増えている。しかし、元住民としては客が増えて騒がしくなることに懸念がある」との声もあり、議員からは観光地化の推進ではなく、渋滞解消などの課題解決に注力すべきとの意見が出されました。

森林管理と松枯れ対策

森林税の使い道について質問が寄せられ、「松枯れが進んでおり、伐採の対応が遅れている」との指摘がありました。議員から「町では、危険箇所を優先的に対応しているが、予算の制約から全ての要望に応えるのは難しい状況。」との説明がありました。

議会のあり方と町民との対話

町民からは「議員と話す機会をもっと増やしてほしい」との要望があり、議員側は「地域との接点を増やす工夫をしていく」と応じました。議会広報誌の内容についても「町長の答弁を省略せず掲載してほしい」との意見がありました。

意見交換会では、町民からの具体的な課題提起が相次ぎ、今後の町政運営に生かされるべき貴重な意見が多く寄せられました。





(4) 意見交換会後の対応

意見交換会で出された意見について、箕輪町議会定例会や伊那中央行政組合定例会で、各議員が取り上げました。

3月定例会一般質問（通告順）

中澤清明議員

もみじ湖観光施策について

- (1) もみじ湖関係予算の収支バランスは大きな赤字であるもみじ湖観光施策を見直すべきでは
- (2) 旧居住者のふるさとを離れて集団移転した思いを繋ぐ

小口智世議員

伊那中央行政組合負担金について

- ・伊那中央病院の収支の推移と課題は
- ・箕輪町の負担金の推移、今後の見込みと町の財政への影響は

岡田建二郎議員

計画的な森林整備のための予算確保の現状と課題について

上田学議員

移住・定住について

- (1)「住み続けたい・帰ってきたい町」とは
- (2)地元企業の魅力を伝えるために行政ができることは

寺平秀行議員

- (1)常会未加入の現状と取り組みは
 - (2)新興住宅地における道路整備や消火栓の設置は
 - (3)もみじ湖観光の課題と取り組みは
- ア 持続可能な観光の目指すもの

イ 旧長岡新田地区の住民の思いをどう引き継ぐか

中央行政組合議会一般質問

中村政義議員

伊那中央病院整形外科の高齢者に対する手術の対応について